



2025年7月23日

各 位

会 社 名 ユキグニファクトリー株式会社
代表者名 代表取締役社長 湯澤 尚史
(コード：1375、東証プライム市場)
問合せ先 経営企画本部 IR・広報部長
米山 正芳
(TEL. 025-778-0162)

キノコ摂取のバイオマーカー開発に関する研究結果についてのお知らせ
～新潟医療福祉大学、新潟薬科大学らとの共同研究が
「Annals of Clinical Biochemistry」に掲載～

ユキグニファクトリー株式会社(本社：新潟県南魚沼市、代表取締役社長：湯澤尚史)は、学校法人新潟総合学園新潟医療福祉大学 中川 沙織教授、学校法人新潟科学技術学園新潟薬科大学 桑原 直子特任助教、佐藤 眞治教授、学校法人神戸薬科大学 増田 有紀講師、小西 守周教授、学校法人仁田学園島根リハビリテーション学院 山崎 健治氏、社会医療法人仁寿会加藤病院 大畑 修三病院長、加藤 節司理事長、国立大学法人島根大学 橋本 道男客員教授との共同研究におきまして、マイタケ含有食品を摂取した健常人の血清中エルゴステロール濃度を定量した実験で、エルゴステロールのキノコ摂取のバイオマーカーとしての有用性を明らかにしました。

これまで、キノコに含まれるエルゴステロールのコレステロール合成抑制作用、骨粗しょう症の改善効果が報告されていますが、正しく食品機能を評価するには、その成分が実際に体内にどのくらい取り込まれているかを知ることが必要です。

吸収されづらいと言われているエルゴステロールですが、本研究ではマイタケ含有食品を摂取することで体内に吸収されたエルゴステロールを血中から検出することに成功し、キノコ摂取のバイオマーカーとしての有用性が示されました。今回は、血中のエルゴステロールを高感度に定量できた初めての報告です。

本研究により、キノコの健康機能の定量的な評価につながる技術が開発できたものと考えています。この報告は2025年6月25日付けで Sage Journal が刊行する日本臨床化学会の Annals of Clinical Biochemistry に掲載されました。

【論文情報】

タイトル：Application of ergosterol as a maitake mushroom intake biomarker.

著 者：Naoko Kuwabara, Eri Miyamoto Jogi, Masaharu Kato, Yuki Masuda, Morichika Konishi, Kenji Yamasaki, Shuzo Ohata, Setsushi Kato, Michio Hashimoto, Shinji Sato, Saori Nakagawa.

掲 載 誌：Annals of Clinical Biochemistry (2025) First published online June 25, 2025.

U R L：<https://doi.org/10.1177/00045632251357138>

以 上